

調査検討及び実証試験のイメージ

実施概要

920MHz帯無線センサーネットワーク上で音声を伝送可能とするため、岩手県大槌町をモデルとして本年7月から調査検討会(座長 岩手県立大学 村田 嘉利 教授)を実施

実施期間

平成26年7月から平成27年3月まで

実証試験

平成26年11月から平成26年12月まで
12月19日にデモ試験を実施
(構成員、報道機関限定)

調査検討のイメージ図

データ伝送システムとして様々な用途に利用

物流・物品管理

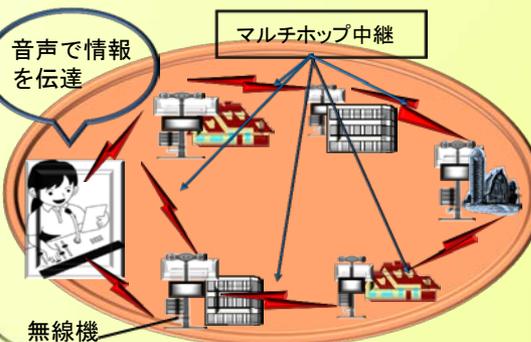


エネルギー管理



無線機

音声データを可能とすることにより利用用途が拡大



利用用途拡大例

- ・災害情報伝達
- ・サイレン音声の伝達 (河川、防災)
- ・ローカル地域の情報伝達 (祭りの開催、不審者情報など)

実証試験のイメージ図

